

ミカン科の落葉高木で、枝や幹にはトゲがあります。知多半島には多く自生していて、4種類ものアゲハチョウ類の幼虫の餌植物になっています。実はメジロなどの野鳥がついばみます。

カラスザンショウ(ミカン科)の実と幹(右)

2022. 10. 21(実) / 2017. 3. 4(幹) 美浜町時志



春～初夏に枝いっぱい
に雪をかぶったように
白い花をつけます。

鍋山やオレンジライ
ン付近にもたくさん
自生しています。

クロバイ (ハイノキ科) の花
2019. 4. 30 美浜町オレンジライン



ハンノキ林

2016. 4. 30 オレンジライン

ハンノキ(カバノキ科)
(雄花)

2017. 2. 16 美浜町
オレンジライン沿道

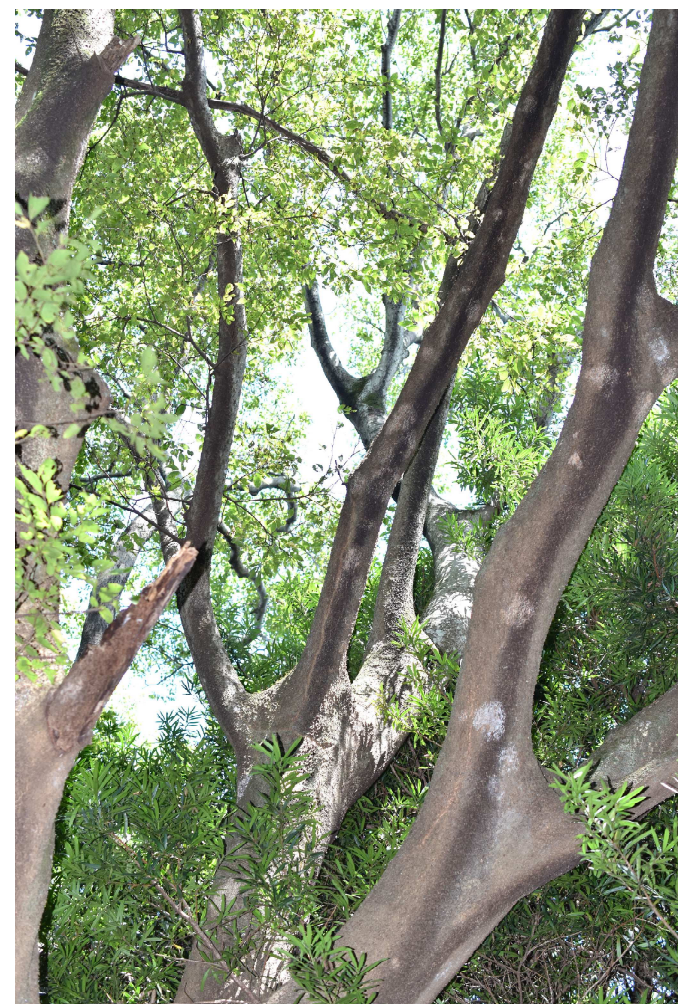
落葉高木で、春に最も早く開花する植物の一つです。美浜町には多く自生しています。ミドリシジミやオナガミズアオ(ガ)の幼虫の餌植物です。



カクレミノ

2023.12.2 美浜町
オレンジライン

ウコギ科の常緑小高木で、
ウバメガシなどの常緑広
葉樹の下に自生します。
日陰を好む陰生植物(陰
樹)です。オレンジライ
ン沿いにはたくさん自生
しています。タテジマカ
ミキリが食べる木です。



2020. 12. 3
オレンジ
ライン(直
径1mを超え
る大木)

エノキ(アサ科)

2015. 10. 3 美浜町オレンジライン

落葉高木で、ゴマダラチョウ、テ
ングチョウなどエノキ類しか食べ
ない昆虫も少なくありません。
昆虫類の多様性を支える木です。



野生のランで，ウバメガシ林などの林床に自生しています。6～7月頃に濃い紫色の花を咲かせます。布土小学校近くの林内には100株余りのコクランが群生しています。

コクラン(ラン科)の花

2023. 7. 3 美浜町布土小学校付近



旅をするチョウとして知られています。美浜町でも毎年10月頃にヒヨドリバナやセイタカアワダチソウなどの花で、蜜を吸うこのチョウが観察されます。

アサギマダラ（ヒヨドリバナで吸蜜）

2020. 10. 13 美浜町オレンジライン沿道



成虫で越冬する
チョウです。土手
の草むらでよく観
察できます。年に
数回羽化します。
幼虫はハギやネム
ノキなどの葉を食
べます。

キタキチヨウ（畑の土手の草むらで越冬する成虫）
2020. 3. 6 美浜町布土小学校付近



アカシジミ

2016. 6. 2 美浜町オレンジライン

翅の表も裏も全体が
オレンジ色のシジミ
チョウです。成虫は
年1回，初夏に羽化し
ます。ミドリシジミ
などとともにゼフィ
ルス（そよ風）と呼ば
れる里山を代表する
チョウです。幼虫は
ウバメガシ，コナラ，
カシ類などの葉を食
べ，卵で越冬します。



大型のチョウで、
翅の表は緑色や
青色に輝きます
(特に♂)。年に
2～3回羽化しま
す。幼虫はカラ
スザンショウな
どミカン科植物
の葉を食べます。

カラスアゲハ♂

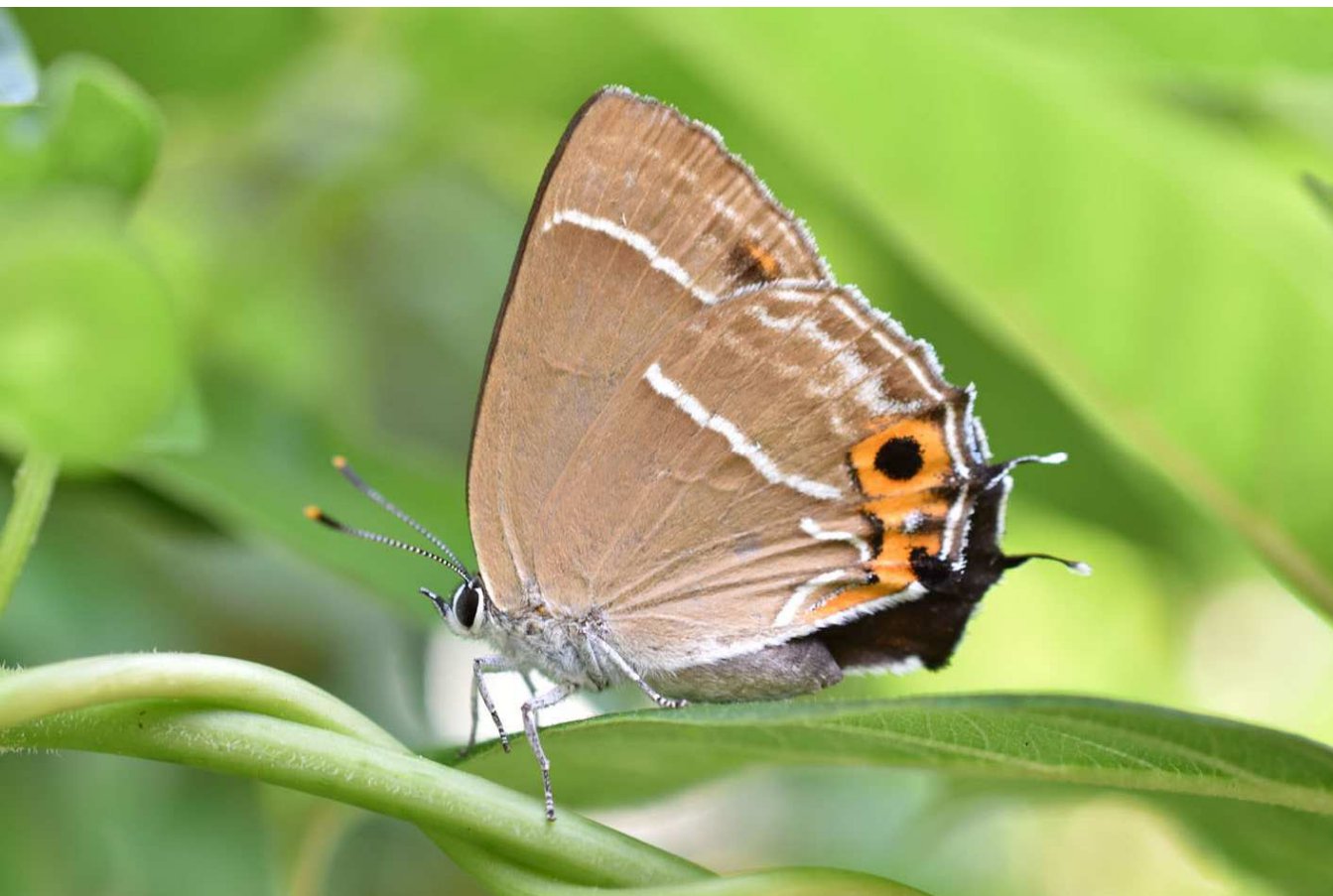
2015. 7. 24 美浜町時志



ウラギンシジミ（ウバメガシ の葉裏で越冬する成虫）

2020. 1. 5 美浜町オレンジライン

翅の裏が銀色のチョウで、成虫で越冬します。ウバメガシやツバキ、ヒサカキなどの常緑広葉樹の葉裏に冬中、止まって春を待ちます。越冬成虫はオレンジラインでもよく観察できます。幼虫はクズやフジの花やつぼみを食べます。



ミドリシジミ (卵)
(ハンノキの枝に産卵)
2020. 12. 3
美浜町布土小学校付近

ミドリシジミ

2015. 6. 13 美浜町
オレンジライン沿道

小型のチョウで、幼虫はハンノキの葉を食べます。成虫は年1回6月頃に羽化します。♂の翅の表は緑色に輝きます。雌は黒褐色に青などの紋。



翅を広げると12～13cmほどの大きなガです。成虫は年1回9月頃に羽化します。幼虫はウバメガシ、クヌギ、コナラ、ヤマモモなどの葉を食べ、緑色の上質の繭を作ります。

ヤママユ

2017. 9. 2 美浜町オレンジライン



ヤマユ幼虫 (ヤマモモの枝で)
2017. 6. 17 美浜町時志

ヤマユ繭
(ヤマモモ)
2017. 7. 19
美浜町時志

成虫

イボタガ

幼虫



2020. 3. 25

美浜町オレンジライン

2022. 6. 1

大型のガで，成虫も幼虫もグロテスクですが，無毒です。成虫は年1回早春に羽化し，幼虫はイボタノキ，ネズミモチなどの葉を食べ，蛹で夏～冬を越します。オレンジラインには多産します。



名前のように翅の色は木の皮そっくりで、うまく隠れています。成虫で越冬し、特にサクラなどの幹に止まって越冬し、オレンジラインのサクラの木でも越冬中の成虫をよく観察できます。幼虫はカキノキの葉を食べます。

キノカワガ(サクラの幹で越冬中の成虫) 2019.12.29 美浜町オレンジライン



体長4mmほどの小さい
テントウムシですが、
ミカンの害虫のカイ
ガラムシを食べてく
れる天敵です。



ベダリアテントウ

2016. 4. 30 美浜町オレンジライン



ナナホシテントウ

2016. 2. 18

美浜町布土

翅の一番前の黒い紋はハート型をしている子が多いです。写真データのように土手の草むらでは冬でも活動しています。

幼虫，成虫とも野菜などの害虫のアブラムシを食べる天敵です。成虫はススキなどの株元で夏越ししています。



美しい甲虫で、幼虫は枯れたエノキやカキノキなどの材を食べ、成虫はこうした植物の葉を食べます。成虫は夏に出現し、美浜町ではこの地域に多いエノキでよく観察できます。

ヤマトタマムシ(エノキの葉上)

2017. 8. 3 美浜町オレンジライン



タテジマカミキリ

2020. 1. 30

美浜町オレンジライン

カクレミノなどにつくカミキリムシです。カクレミノの小枝にしがみついて、成虫で越冬します。落ちることはありません。



マツノマダラカミキリ

2021. 6. 26 美浜町大池

松枯れを起こす外来種のマツノザイセンチュウ（体長1mmほどの線虫）を運ぶカミキリムシです。このため大池海岸のクロマツ林はほとんど枯れてしまいました。



ニホンミツバチ（神社に営巣）
2022. 6. 1 美浜町時志

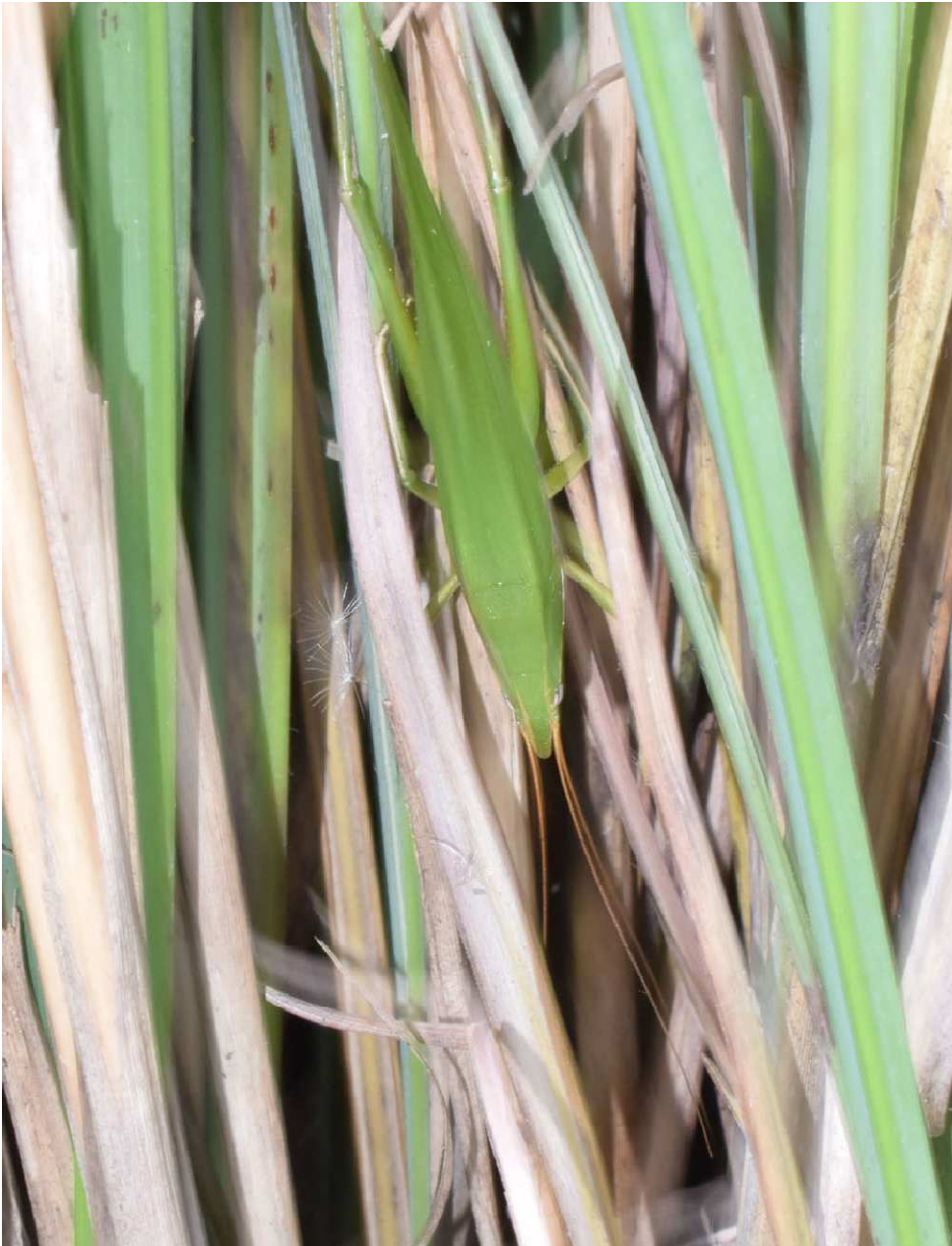
在来のみツバチです。外来のセイヨウミツバチが増加傾向にある中で、美浜町では神社の建物などで毎年のように営巣が観察されています。ミカンなどの花もよく利用できる環境にあるためとも考えられます。

クビキリギス

(ススキの株元で越冬する成虫)

2016. 1. 7 美浜町布土

ススキなどの株元で成虫で越冬するキリギリスの仲間です。必ず頭を下にしています。ススキの株は断熱性があるので、いろんな昆虫が越冬しています。





ツチイナゴ成虫

2015. 10. 21 美浜町布土



ツチイナゴ幼虫

2015. 8. 15 美浜町時志

ススキなどの
葉を食べるイ
ナゴの一種で
す。ススキな
どの株元で成
虫で越冬しま
すが、やはり
成虫越冬のク
ビキリギスと
ちがって頭は
上です。



春～初夏に美しい
声でさえずる代表
的な野鳥です。オ
レンジラインでも
このさえずりをよ
く聞くことができ
ます。

ウグイス

2016. 6. 2 美浜町オレンジライン



農地に多い野鳥で、
春～初夏によく空中
でさえずっています。
美浜町の田園地帯で
もよく観察できます。

ヒバリ

2016. 6. 2 美浜町布土上空



2月頃に渡りの途中で立ち寄る個体を観察できることがあります。まれです。ヤドリギ(美浜町では未確認)の実が好きですが、他にミカンなどの果実もついでに食べます。

キレンジャク

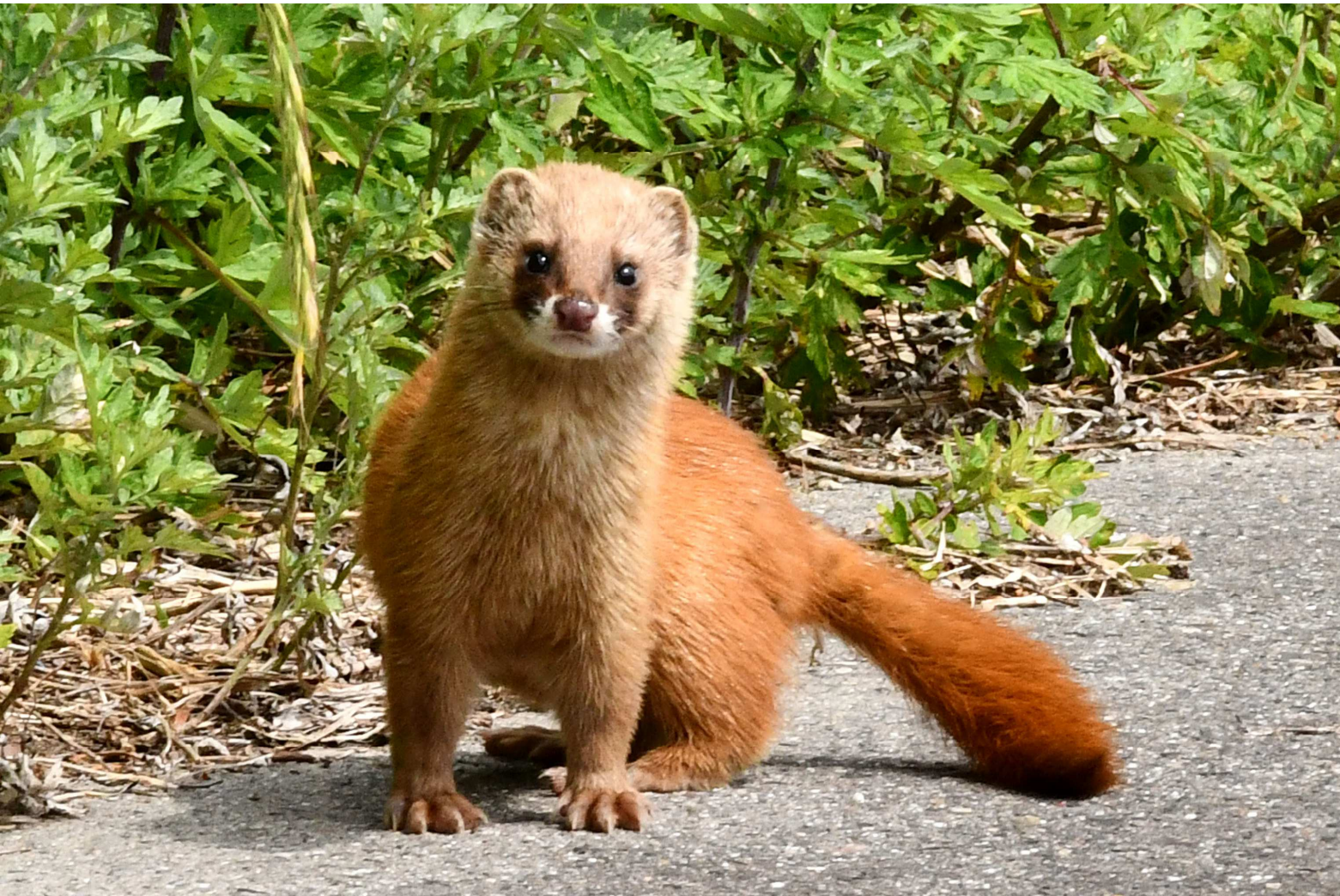
2021. 2. 25 美浜町布土



農地でよく観察できるタカ的一种です。留鳥で、ネズミや小鳥などを捕食し、生態系の頂点に立つ生物です。美浜町の布土や時志ではトビに次いでよく観察できるタカです。

ノスリ

2017. 3. 4 美浜町時志上空



イタチの仲間

2018. 5. 27 美浜町時志

イタチ類は本州にはニホンイタチと外来種のシベリアイタチの2種類が分布していますが、区別は難しいため、ここでは「イタチの仲間」としました。ネズミなどを捕食します。



ススキやイネなどイネ科植物に鳥の巣のような巣を作る小さなネズミです。夜行性で姿はなかなか観察できませんが、ススキなどの株を探すと巣を見つけることができそうです。

カヤネズミの巣(ススキ株)
2016.1.4 美浜町布土